

特別寄稿

新型コロナウイルス感染症とその周辺

野田内科小児科医院 院長

愛知県医師会 理事 野田正治



昨年末から新型コロナウイルス感染症が世界を襲いはじめ、愛知県でも1月26日から散発的に感染者の報告がされるようになりました。2月14日から始まったトレーニングジムや介護施設を中心としたクラスターによる第1波は一旦終息するようには見えてきましたが、東京の感染拡大の余波を受けて4月8日をピークとする第2波がさらに大きな流行を引き起こしました。そしてご存知のように5月になってようやく終息の兆しが見えてきました。

この間、瀬戸市においても5名の感染が確認されるなど皆さんが大変不安になっておられたことでしょう。それに伴い風評被害もあり当院で感染者が出たなどとするデマも瞬く間に菱野団地中に拡がりました。

緊急事態宣言が出て外出を控えた結果、愛知県では5月に入ってから1日の感染者数が3人以下の日々が続いています。

愛知県はマスクでは目立ちませんが、他県に先んじて多くの対応策を講じるなど、次々に手を打ってきました。この間の陶生病院を始めとした感染症指定病院の頑張りは特に称賛されるべきです。医師会も愛知県当局と密接に連携して提言と協力を行い大村愛知県知事もこの意見をすばやく取り入れて、施策に反映してきました。最終的な愛知県の取り組みの評価はもう少し先に出ると思いますが、現時点では「結構上手くやっている」というのが正直な感想です。マスクも愛知県のことをもっと評価してくれれば良いのと思っています。

これも皆さんの三密を避ける自粛の成果であると思います。不自由な生活が一体いつまで続くのか不安に感じられていると思います。残念ながらこのまま大きな流行が抑えられたとしても、完全に終息するには有効なワクチン接種が始まるまで待つしかありません。

現在、研究所や製薬会社は猛烈なスピードでワクチンや治療薬の開発を進めています。我々医療者も精一杯努力しています。もう少し時間がかかりますが、それまでいわゆる自粛疲れをしないようにお願いします。人混みを避けた散歩や家庭内や公園での筋トレやストレッチをしてお待ちいただければと思います。



あしがき



- ◇例年春ともなればスポーツ愛好家はシーズンスタートのウキウキ気分。高校野球、プロ野球、ゴルフ、サッカー、相撲、ラグビー、バスケット etc...
 - 改めてスポーツが世の中を明るくしてくれていることを実感します。
 - ◇今回「野田内科小児科医院 野田院長」に「新型コロナウイルス感染症とその周辺」と題し寄稿して頂きました。「愛知は結構上手くやっている。これも皆さんの自粛の成果」とのお話には救われる思いです。
 - ◇地区社協も4月から新年度を迎えました。しかし事業方針は決定したものの実施に向けては不確定要素も多く困惑しているのが実情です。
 - ◇世の中の動きを見ながら、そして行事に参加頂く皆さん方の健康と安全を第一に考え活動を進めて参りたいと思っています。
- どうぞよろしくお願い申し上げます。(U)

掲示板

今年度の「会員募集」は9月初旬～とさせていただきます。

その折は、何卒ご協力の程よろしく
お願い申し上げます！